



您当前的位置: 北京日本学研究中心 → 师资力量 → 中方专任教师 → 日本文化 → 文章内容

本类热门文章

- 潘蕾 讲师
- 郭连友 教授
- 张彦丽 副教授

推荐文章

该分类还没有添加任何内容!

郭连友 教授

作者: 佚名 来源: 本站整理 发布时间: 2008-12-17 8:03:26

[减小字体](#) [增加字体](#)



郭 连友

(教授、博导、文学博士)

日本思想史、日本文化史

学 历

1978年2月至1982年2月 天津外国语学院日语系毕业

1985年9月至1987年8月 北京日本学研究中心、日本社会文化专业硕士毕业（硕士学位）

1991年4月至1999年2月 日本国立东北大学大学院文学研究科博士课程毕业（文学博士）

工作经历

1987年8月至1991年3月 天津外国语学院日语系讲师

1984年1月至1985年7月 天津人民广播电台《日语广播讲座》主讲

1999年6月 北京日本学研究中心副教授

2007年11月 北京日本学研究中心教授

2005年10月至2006年3月 日本名古屋大学客座教授

邮箱: kkg@bbn.cn

研究成 果

著作

《吉田松阴与近代中国》（专著）中国社会科学出版社、2007年3月

《近世中日思想交流论集》（主编）世界知识出版社、2003年10月

学术论文

1. 「近代中国における吉田松陰認識」

（北京日本学研究中心编『日本学研究』所収 中国科学技术文献出版社 1991年12月）

2. 「吉田松陰の「革命思想」の形成」

（『近代化と価値観』所収 国際基督教大学アジア文化研究所 1992年2月）

3. 「日本における孟子受容と吉田松陰の『革命思想』」

（日中文化交流史叢書第3巻、源了圓・巖紹湯編『思想』大修館 1995年10月）

4. 『孟子』思想在日本——『孟子』與吉田松陰的『革命思想』」中日文化交流大系【3】『思想卷』（1996年12月刊）浙江人民出版社）

5. 「アヘン戦争と吉田松陰——世界情勢への開眼と新たな兵学観、民政観の形成——」
(日本文芸研究会編『文芸研究』第140集 1995年9月)

6. 「近代中国における吉田松陰認識——清末改良派を中心に——」

（玉懸博之編『日本思想史——その普遍と特殊』ペリカン社出版 1997年7月）

7. 「近代中国における吉田松陰認識——革命派と民国期の松陰論をめぐって——」

（東北大学文学会編『文化』1999年3月）

8. 「太平天国と吉田松陰の思想形成」

（日本思想史学会編『日本思想史学』31号 ペリカン社 1999年9月）

9. 「吉田松陰の思想形成と孟子受容——「性善説」をめぐって」
(東北大学文学部日本思想史研究室編『日本思想史研究』2001年秋号)
10. 「梁啓超と吉田松陰」
(日本ペリカン社『季刊日本思想史』第60号 2002年1月)
11. 「偽『南京政府』時代の二宮尊徳論——一つの歪められた尊徳像」
(劉金才、草山昭主編『報徳思想と中国文化』所収、中国学苑出版社、2003年4月刊行)
12. 「鸦片战争与吉田松阴的思想形成」《中日文化交流史论集》2002年4月, 中华书局)
13. 「鸦片战争太平天国与日本幕末思想」《近世中日思想交流论集》世界知识出版社2003年10月
14. 《伪南京政府时期的二宮尊徳論——一个被歪曲的尊徳像》劉金才、草山昭主編『報徳思想と
中国文化』所収、中国学苑出版社、2003年4月刊行
15. 「吉田松阴与孟子思想」高明士主编《东亚文化圈的形成与发展—儒家思想篇》台湾国立大学
学系
16. 「吉田松阴“人性观”与孟子的“性善论”」(黄俊傑主编《中华文化与域外文化的互动与融
合》)
17. 「吉田松陰における太平天国認識とその政治思想の転換」(『日本思想史学』第36号・特別刊
「吉田松陰研究の現在——2003年度大会パネルセッション」) 2004年9月
18. 「百日維新と日本」鳥海清編『近代日本の転機（明治・大正編）』吉川弘文館、2007. 6
19. 「五・四運動」鳥海清編『近代日本の転機（明治・大正編）』吉川弘文館、2007. 6